

町民意見交換会の
お知らせ

皆さまの
ご意見を
お聞かせ
下さいます

「栗山町スキー場の在り方について

【栗山町スキー場町民意見交換会】

日時・ 平成31年1月28日（月）18:00～ 総合福祉センター「しゃるる」
場所 平成31年1月29日（火）18:00～ 角田農村環境改善センター
平成31年1月30日（水）18:00～ 継立南部公民館
内容 「今後のスキー場の在り方について」

【スキー場営業中止の経過】

栗山町民待望のスキー場が昭和46年にオープン。(平成4年から栗山町が管理運営)

平成11年に栗山町行財政改革実施計画の答申において、老朽化が進んでいるスキー場について「維持については最小の経費で行い、修繕や更新費用が多額になるときはリフトの廃止もやむを得ない」と示されており、平成15年9月議会において、スキー場の今後についての一般質問に対して「町としては基本的に答申を尊重していきたい」と町長が答弁しております。

教育委員会として上記答申の考えを中心としてスキー場の管理運営をしてきました。リフトが設置されてから40数年が経過していることから、今後も安全にスキーリフトの運行をするために支柱・基礎の状態を把握し、そして今後の修繕方法を検討するため調査を致しました。

調査会社からの報告では、通常の検査だけでは発見が困難な支柱の鉄骨部分の劣化について指摘されました。特に鉄骨の板厚が塗装劣化により薄くなっている箇所が多く、本年度のオープン前に安全にリフト運行するための修理は不可能と判断し、やむを得ずスキー場の営業を中止に致しました。

冬期間の屋外スポーツができる唯一の施設として、また、町内小学校から高校までのスキー授業、そして、スキー連盟によるスキー講習会はスキーを始めるきっかけづくりとして人気があり、教育施設として栗山町スキー場は重要な役割を果たしています。

しかし、建て替えには、リフトだけではなくロッジの建て替えも必要になってきている施設のため、建て替えだけで推定2億～3億円という多額の費用がかかります。

栗山町スキー場の魅力は十分に理解しておりますが、リフトやロッジを建て替えると次世代への負担が大きくなることから、近年のスキー場の利用傾向や、広域でのスキー場利用の可能性、スキー授業・講習など利用者など、さまざまな方からの声をお聞きし、今後のスキー場の在り方について総合的に判断したいと考えております。

ぜひ、皆様のお考えをお聞かせください。

【問い合わせ】 栗山町教育委員会 (電話) 72-1117